

# 長府エアファーンレス(密閉式石油ストーブ) 工事説明書 AF-1701F

■取付工事店様へ  
設置工事の前に、この工事説明書をよくお読みのうえ正しく据付けてください。なお、この工事説明書は、工事終了後に取扱説明書と一緒に必ずお客様にお渡しください。

- ストーブを設置する場所には、電気設備に関する技術基準、火災予防条例に定められた設置をする必要があります。各地区の市・町・村火災予防条例に従ってください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理いただくようお願いいたします。
- ストーブ本体にテープで貼付られている注意シランなどは積んだ後取り除き、お客様にお渡しください。
- 取扱説明書に従って「特に注意していただきたいこと」「使用方法」「アフターサービス」「保証書」についてお客様に説明してください。

32400023300C  
9562

## 安全のために必ずお守りください

●ここに示した事項は △警告、△注意 に区分しています。

- 警告** この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性がある内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●イラスト(まんが)の横にあるマークは次のように表しています。

○ マーク 禁止、 ● マーク 指示、 △ マーク 注意

**警告**

据付けや移設は、販売店または据付業者が行ってください。

- お客様ご自身で据付けをされ、不備があると感電や火災の原因になります。

据付けは火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準を守ってください。

## 安全のために必ずお守りください(つづき)

**警告**

**屋内給排気禁止**

- 屋内に排気すると、排ガスが室内に充満して危険です。必ず屋外に排気してください。

**床下給排気禁止**

- 床下に排気すると、排ガスが室内に漏れて危険です。必ず屋外に排気してください。

**給排気筒を確実に接続**

- 給排気筒を確実に接続し、しっかりと固定してください。風、振動、衝撃などで外れたりすると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

**給排気筒トップは閉そくしない場所に設置**

- 積雪が多いときに給排気筒トップの周りが雪でふさがれない場所に設置してください。また、板などによる「雪囲い」は給排気の妨げになるのでおやめください。運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。

**注意**

次の場所には据付けない

**火災や予想しない事故の原因になります**

- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物をのせた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所
- 付近に燃えやすいものがある場所
- 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
- マントルピース内
- 温室、飼育室など人のいない場所

**注意**

**可燃物との距離を離す**

標準据付け例

- ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようになっています。
- ストーブ右側面と壁面は保守点検のため30cm以上離してください。

■ストーブに付属された置台の上に据付けること。

■給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようになっています。

注(※)60cm以上の寸法は、可燃物・給排気筒・ステンレス製など最大積雪量より90cm以上

●給排気筒トップは上方及び両側に気流を阻止する障害物がないこと。

●雪の多い地方では、最高積雪面より50cm以上離れる場所に、給排気筒を取付けてください。

●土留では可燃物までの離隔距離を示していますが、保守点検や性能維持のため、不燃物など場合も上図離隔距離としてください(※部は除く)。

**注意**

**油タンクとの距離を離す**

- 油タンクはストーブより2m以上離して据付けるか、防火上有効な遮へいを設けてください。据置き式の油タンクは、不燃材の床の上に据付けること。

**ゴム製送油管の屋外使用禁止**

- ゴム製送油管は屋外で使用しないでください。ひび割れを生じて油漏れの原因になります。

**油漏れ確認**

- 油タンク・ゴム製送油管・接続部およびストーブなどから灯油漏れがないことを確認の上ご使用ください。灯油が漏れていると火災のおそれがあります。

**給排気筒の点検**

- 据付けが終わりましたら、もう一度点検してください。次のような取付けは、危険であったり、異常燃焼をおこすおそれがありますので、必ず修正してください。

**可燃物近接禁止**    **接続部のゆるみ禁止**    **下り勾配のごとく**

**3m3曲がり以下のごとく**    **給排気筒トップと開口部(窓など)との距離が離れていること**    **給排気筒トップ付近の危険物近接禁止**

延長3m以下、曲り3箇所以下

## 開こん

●ダンボール箱からストーブを取り出し、パッキン材、テープなどを取り除いてください。

**付属品の確認**

●付属品として次のものが用意されていますので確認してください。

置 台	排 気 管	エルボ	壁 固 定 金 具
(1個)	(1個)	(1個)	(1個)
<b>ゴム製送油管</b>			
<b>ストッパーリング</b>			
<b>排気管断熱カバー</b>			
(1本)	ワイヤーバンド(大)	(1個)	(1個)
<b>ワイヤーバンド(大)</b>		<b>給気リング</b>	
(1個)	(1個)	<b>取扱説明書</b>	
<b>工事説明書</b>		<b>保証書</b>	
(1枚)	(1枚)	(1冊)	

●別梱包として次のものが用意されていますので確認してください。

**給排気筒セット**

1 室内側給排気筒  
2 室内側パッキン  
3 室外フランジ  
4 室外側パッキン  
5 給排気筒トップ  
6 スペーサ  
7 スペーサパッキン  
8 4×25ねじ 3本

## 据付け

**据付け場所の選定**

ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は図のようになる場所を選定してください。

- 燃えやすいものや障害物のない場所。
- 水平で安定のよい、しっかりとした場所。
- ストーブを背面で固定できる場所。
- 電源は家庭用100Vの電源コンセントをご使用ください。(電源コードの有効長さは約2mです。)
- 給排気筒が正しく屋外に取付できる場所。集合煙突には絶対に取付けないでください。
- 給排気筒トップは高温となります。小さなお子さまが触れるような場所や、通路、人通りの多い場所には出さないでください。
- 灯油を燃焼させるため、点火時や消火時におこす排気筒トップは、出入口に近い場所や外気が室内に入りやすい場所に取付けることを避けてください。

**高地で使用の場合**

高地(標高1000m~1500m)で使用される場合は空気不足となるため、調整が必要となります。

- 1000m~1500mの場合は標準設置で取付けてください。また給気リングは取付けないでください。

**据付け方法**

**置台の取付けと水平調節**

1. 置台を取付け、水平調節してください。

- 置台の上にストーブを据付けてから、ストーブの4箇所(調節脚)で水平になるように調節してください。

2. 置台固定金具でストーブを置台に固定してください。

- ①ストーブの左・右側面のねじ(各1本)を外してください。
- ②付属の置台固定金具を置台の固定面に差し込み、外したねじ(各1本)で固定してください。

●ストーブは水平に据付けてください。対震自動消火装置の誤作動や異常燃焼の原因になります。

## 据付け(つづき)

**据付け方法(つづき)**

**油タンクの組立てと据付け**

油タンクを油タンク付属の取扱説明書にしたがって組立ててください。

- 油タンクは、油タンクの油面がストーブ設置床面より30cm以上2m以内の高さになるように据付けてください。
- 油タンクは熱・振動・衝撃の少ない場所に据付けてください。

**ゴム製送油管の取付け**

ゴム製送油管を接続金具の根元まで差し込み、付属のワイヤーバンド(小)で固く締め付けてください。

**ストーブの固定**

ストーブの固定は給排気筒を取付けてから行ってください。

1. 壁固定金具を壁に固定してください。

- 木又は厚い合板の壁  
木又は厚い合板の壁に固定する場合は、付属のねじ(4×25)を使用して壁に直接固定してください。
- モルタル、コンクリートの壁  
モルタル、コンクリートの壁に固定する場合は、市販のコンクリート用プラグ(ねじ径φ4用)を壁に打ち込み、①項と同様に固定してください。
- 石膏ボード、薄い合板の壁  
石膏ボード、薄い合板の壁などに固定する場合は、市販の中空壁用プラグ(ねじ径φ4用)を壁に打ち込み、①項と同様に固定してください。
- 土壁、しっくい壁  
土壁、しっくい壁などに固定する場合は、壁にそえ木をしてから、①項と同様に固定してください。

2. 壁固定金具をストーブに固定してください。

- ストーブを壁におつけ、壁固定金具を付属のねじ(4×10)で固定してください。
- ストーブは付属の壁固定金具で必ず固定してください。壁に固定できない場所での使用はおやめください。

**送油経路の空気抜き**

オイルフィルタの空気を抜いてください。

- オイルフィルタの下に布などをあて、空気抜きねじをゆるめ、空気抜きねじ部より油が出てきたら、再びねじをしっかりと閉めてください。
- ゴム製送油管をよく振り、空気抜きを十分に行ってください。
- こぼれた油はきれいにふき取ってください。

**ストーブの固定**

ストーブの固定は給排気筒を取付けてから行ってください。

1. 壁固定金具を壁に固定してください。

2. 壁固定金具をストーブに固定してください。

## 給排気筒の取付け

**標準給排気方式の工事方法**

■給排気筒及び工事部品は、給排気筒の呼び径49のものを使用してください。指定以外のものは使用しないでください。

■付属している給排気筒セットは、壁の厚さが11cm以下、24cm以上の壁には使用できません。

■給排気筒の端面(パイプの先端など)でケガをしないように、手袋をはめて行ってください。

- 設置場所を決めてください。
- 給排気筒の穴あけ位置を決めてください。
- 壁に給排気筒の穴をあけてください。
- 給排気筒を分離してください。

5. 室内側給排気筒を壁穴に差し込んでください。

6. 給排気筒トップを取付けてください。

7. 室内側給排気筒の室内フランジを固定してください。

8. 給排気筒トップを固定してください。

9. 室外フランジ部にコーキング剤を塗ってください。

10. 付属の排気管エルボに付属の排気管断熱カバーをかぶせてください。

11. 排気管エルボを給排気筒に取付けてください。

12. ストーブと排気管エルボを接続してください。

13. 給気リングの取付け

14. 給気ホースを給排気筒に固定してください。

15. 排気管抜け検知リード線を接続してください。

**壁に給排気筒の穴をあけてください。**

- 木造の建物で壁にメタルラス張り、ワイヤラス張りまたは金属板張りをしたところ給排気筒を通す場合は、それらの金属部に接しないよう電気的絶縁をしてください。
- 壁に穴をあけるときは、壁内の鉄筋、電気・電話線、ガス・水道配管にあたらぬ場所を選んでください。

**室内側給排気筒の取付け**

- 室内側パッキンを通し、壁穴に差し込んでください。
- 室内側フランジを「上」の文字が上になるように、付属のねじ(4×25)3本で壁に固定してください。

**給排気筒トップの固定**

- 給排気筒トップを室外フランジ、室外側パッキンを通し、室外側より壁穴に差し込み、室内側給排気筒に半分ほどねじ込んでください。
- 雨水が激しくかかるところや濡霧が発生する地域では、雨水の壁内浸入を防ぐため、ねじ込み部にコーキング剤などを塗布してください。

**排気管エルボの取付け**

- 室内側給排気筒の排気口に排気管エルボを差し込んでください。
- 差し込み部のリップをはさんで付属のストッパーリングを掛けてください。

**排気管断熱カバーの取付け**

- 排気管断熱カバーは、排気管エルボに掛けてください。

**給気リングの取付け**

- 給気リングは水平・垂直方向にあります。設置条件に合せて接続する方向を決めてください。
- 水平方向の排気口に接続する場合は、水平方向のねじ、排気口キャップを外し、垂直方向に取付けなおしてください。

**ストーブと排気管エルボの接続**

- ①ストーブを動かして、ストーブの排気口に排気管エルボを2段目のリップが完全にストーブ内に入るまで差し込んで、接続してください。
- ②ストッパーを排気管エルボに押し当て、ねじ2本を締め付けてください。

**給排気筒の取付け**

標準給排気方式の工事方法

1. 設置場所を決めてください。

2. 給排気筒の穴あけ位置を決めてください。

3. 壁に給排気筒の穴をあけてください。

4. 給排気筒を分離してください。

5. 室内側給排気筒を壁穴に差し込んでください。

6. 給排気筒トップを取付けてください。

7. 室内側給排気筒の室内フランジを固定してください。

8. 給排気筒トップを固定してください。

9. 室外フランジ部にコーキング剤を塗ってください。

10. 付属の排気管エルボに付属の排気管断熱カバーをかぶせてください。

11. 排気管エルボを給排気筒に取付けてください。

12. ストーブと排気管エルボを接続してください。

13. 給気リングの取付け

14. 給気ホースを給排気筒に固定してください。

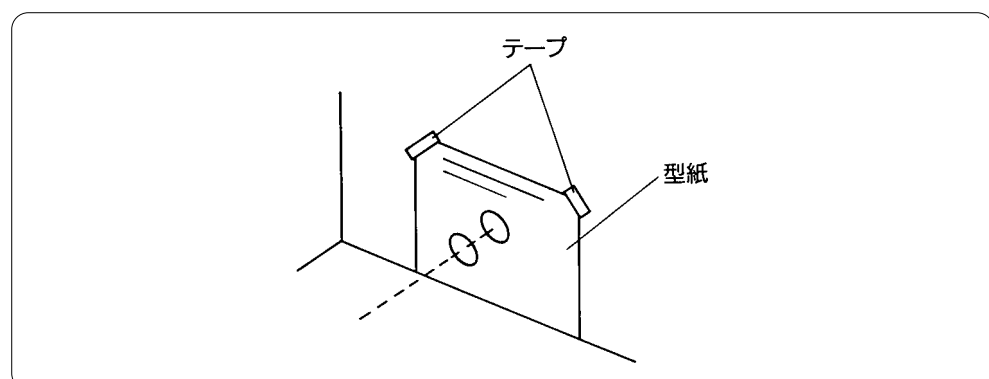
15. 排気管抜け検知リード線を接続してください。

●排気管の接続部へのストッパーリングの取付けや排気管抜け検知リード線の先端の端子固定を確実に行って、接続不良を行さないでください。排気管の接続部が外れていたり、排気管抜け検知リード線が正しく接続されていないとき、「E-19」を表示し点火できません。

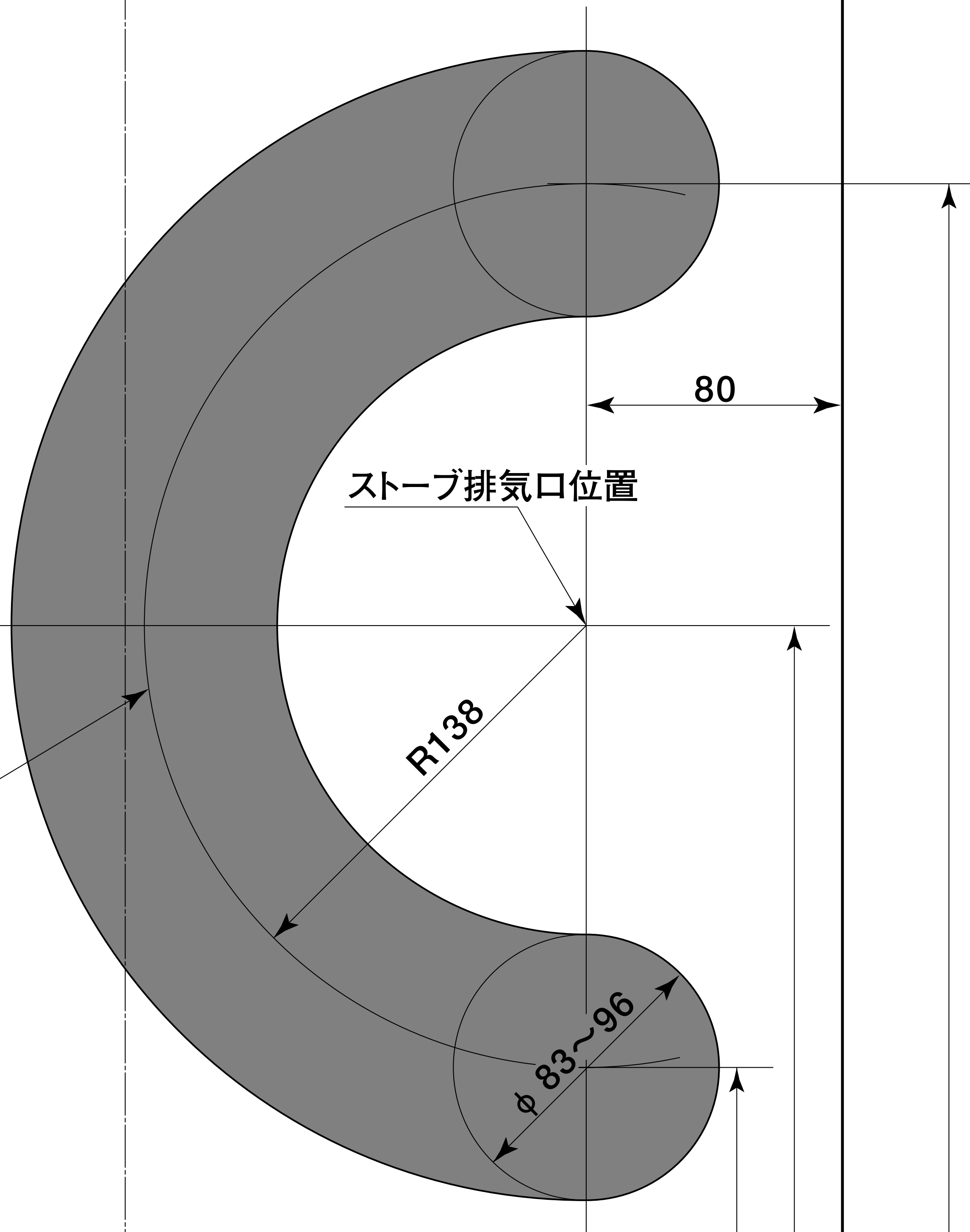
●リード線は給排気筒の高温部に触れないようにしてください。

### 型紙の使用方法

1. 型紙の床面を床に合せて壁に貼り付けてください。
2. 給排気筒穴位置に印をつけてください。



標準設置給排気筒取付穴あけ中心



## 給排気筒標準設置取付け型紙

### 給排気筒の取付け(つづき)

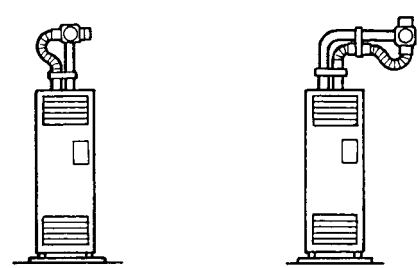
#### 壁固定金具による本体の固定

給排気筒の取付けが終わりましたら、ストーブと壁とを付属の壁固定金具で固定してください。

- 壁の材質により壁固定金具の固定する方法が異なりますので、**ストーブの固定**を参照して適切な方法で固定してください。

#### 延長給排気方式の工事方法

- 標準給排気以外にも排気管や給気管を延長して取付けることができます。給排気筒の呼び径D49タイプの別売延長セットを使用して延長工事を行ってください。



- ストーブについている排気管抜け検知リード線は約2mまで延長できます。それ以上の場合は別売の抜け検知リード線 (FR-1) で延長してください。



- 延長配管の長さは3m以下、曲がりは3箇所以下になるように配管してください。それ以上延長しますと異常燃焼することがあります。
- 排気管の取付けはストーブ本体出口を最も低い位置とし、上り勾配で取付けてください。下り勾配や凹部になっていますと排気管にドレンがたまり、異常燃焼の原因になります。
- 排気管接続部の全てにストッパーリングの取付けを確実に行ってください。[E-19] を表示し点火できないことがあります。

### 試運転

- 試運転は使用者とご一緒に必ず行ってください。詳しくは取扱説明書の38ページを参照してください。

### 廃棄するときの注意

- ストーブを廃棄するときは、必ず灯油を抜いてください。リサイクルの支障となります。

この線を床に合せてください。

830

968

692